

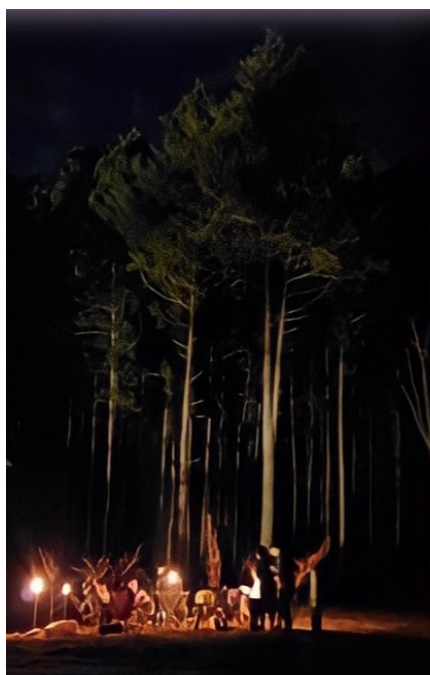
くーのいえ通信 11

No.57



我々の生活を根底から揺るがす人口減少、なんと4年後の2025年には3人に一人が65才以上(5人に一人が認知症)となり過去の日本人が経験したことのない社会の縮小が始まり、過去の常識など全く存在しなくなり、「これが正しい」は時代と共に色あせていくのだろう。お金の価値、労働の価値が大きく変わり物を作る人、買う人そして届ける人もいなくなるというのだ。最近ガソリンの高騰に始まり、我々の生活がじわじわと窮屈になってきていることに気づいている人は多いだろう。30年間給与が上がらないどころかここ二年は給与が下がっているのだ。そしてこれだけ空き家が増えてくると家イコール財産の考え方も改める必要がある。今あるものを上手く活用し、代替えてオリジナルなものに仕上げられる人が重要だ。時には不便を大いに楽しみ、ユーモラスに生きる覚悟も必要だろう。そしてこれからはアナログ人間に戻り、人との交流をつづけ自然に回帰できる人こそがほんとうの勝ち組なのかもしれない。今回の松岡紀美子の仲間達展は生活に潤い、豊かさを与える作品が数多く展示され、みる人を心からほっとさせた。まさに頭でいいな～を心で消化できた感じた。昔から文化は地方から生まれると言われている、採算を考えてしまう都会では文化は生まれづらいのだ。そんな気配を感じさせるすばらしい展覧会だった。…悲しいことも、辛いことも、信じたくないことも突然やってくる。でも楽しいことだってたくさんある。人生には意味がある、人それぞれ違ったミッションもある。「天に星、地に花、人に愛」そう、命は自分だけのものではない、誰かを支えるためにあると聞いた。一番星に思いをはせ、それぞれがお世話になった人にありがとう…と伝え、又ミッションにむけて進んでいきたい。

遠藤孝浩



焚火「鎮魂」



私のあかり



kayanokivillage モネの池

【くーのいえ 相続コラム】

2021.11

コロナ禍で相続の不安増加

コロナ禍で離れて暮らす両親や親族と会う機会が減り、相続について家族で話し合う時間を持つことがより難しくなっています。そんな中特に子の世代が相続について不安を持っているという記事を目にしました。子世代からは親に相続の話題を話しづらく、親世代は話をするほどの資産はないと考えている方が多いようです。その結果先延ばしにしたまま相続を迎えてしまうという方が多いのではないのでしょうか。ある調査では、相続対策をしている方は全体の約1割程度で、対策をしていない方の多くは何をしたら良いかわからない。誰に相談して良いかわからない。と回答しています。

先日弊社で管理するアパートの入居者様より、親の所有する空家や土地について相談したいとご連絡をいただきました。漠然な不安で相談して良いか迷ったが、入居するアパートの用事のついでにとご相談をいただきました。漠然な不安でも誰かに相談することで不安を小さくすることができます。実際いくらで売却ができるのか、問題点はなにか、今のうちから対処した方が良いことはなにか等気になることはたくさんあると思います。こんなこと聞いていいのかな？と躊躇せず、是非お気軽にご相談いただければ幸いです。

担当プロフィール



土地建物 売買担当
三津間 康太(みつま こうた)
宅地建物取引士
相続士

福島県二本松市出身 安達高校山岳部卒業

日本大学工学部建築学科卒業

平成2年(午年)生まれ

小さい頃から父に連れられ、よく山登りに行っていました。県内を中心にたくさんの山に登ってきました。

8月に娘が生まれてパパになりました！

初めての子育てに悪戦苦闘ですが、可愛い我が子に癒されています。

大学で建築を学び、学んだことを活かして働きたいと思い、不動産業界へ飛び込みました。若輩者ですが、皆様のお手伝いができるよう誠心誠意務めますので、何なりとお申し付けください。どうぞよろしくお願い致します。

【郡山本店】〒963-0117 郡山市安積荒井二丁目 373

TEL. 024-954-6710 FAX. 024-954-6711

【開成店】〒963-8851 郡山市開成2丁目 37-17

TEL. 024-926-0880 FAX. 024-926-0881